

JA全農北日本
くみあい飼料株式会社
南東北支店
福島営業所

第14回和牛枝肉共励会

最優秀賞 中川幸谷氏(JA会津よつば)
JA全農北日本くみあい飼料(株)福島営業所主催による和牛枝肉共励会を8月31日(土)に福島県食肉流通センターで開催し、当社の配合飼料をご利用いただいている和牛60頭(去勢53頭、雌7頭)が出品されました。

枝肉は同日せりりで販売し、枝肉の平均単価は1キロ2,433円、平均販売額1,362,977円と好成績でした。

最優秀賞に輝いた中川幸谷氏の枝肉は最高額の4,007円で落札されました。

同日、表彰式が行われ入賞者に賞状や副賞が手渡されました。審査講師では、「平均枝重560.3kgと全国平均に比べかな



最優秀賞枝肉



最優秀賞：中川幸谷氏
枝肉重量 664.0Kg
枝肉単価 4,007円

り大きく、迫力のある枝肉が多い非常にレベルの高い共励会だった。」と講師をいただきました。

成績は次の通り。(敬称略、かつこ内はJA名)

- 最優秀賞 中川幸谷(会津よつば)
- 優秀賞 佐々木利定(福島さくら)
- 湯浅英明(会津よつば)
- 上野広行(ふくしま未来)
- 遠藤好夫(会津よつば)
- 佐賀久人(会津よつば)
- 伊東博道(ふくしま未来)
- 大栗栄寿(美土里耕産)
- 和山山孝明(ふくしま未来)
- 佐々木利定(福島さくら)
- 土屋伸明(会津よつば)
- 五十嵐ファーム(会津よつば)

営農企画部

令和元年度 特別栽培農産物認証

JA全農福島は福島県特別栽培農産物認証機関として、さる9月13日に第2回判定委員会を農業技術センターにて開催しました。

今回の判定委員会では特別栽培農産物として認証された内容は玄米で申請134件、生産者数1011名、圃場数8404圃場1810畝と、精米は申請2件、精米137トとなりました。

特別栽培米(玄米)は、1~2月に申請書類を提出し書類審査を受け承認されます。6~7月に検査は検査員が圃場検査を行い、8~9月に栽培管理記録等を確認する現地検査を行い、書類を整備し、判定委員会にて最終的な判定となります。

特別栽培農産物は農林水産省「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に基づいて、慣行栽培に比較して「化学合成農薬の使用回数が5割以下」かつ「化学肥料の窒素成分量が5割以下」により栽培され特別な表示(図1)をして流通することができます。

認証機関で認証を受けた場合はさらに認証票(図2)を貼付することにより表示の信頼性を確保することができる制度です。

特別栽培農産物は、環境に優しい農業により栽培されたプレミアム農産物として取り組む例が多くなってまいります。

特別栽培農産物に興味のある方は、JAもしくは本会農業技術センター(TEL:024-942-2400)までお問い合わせください。



第2回判定委員会



認証票(図2)

表示ガイドライン(図1)

10月にお届けする材料を使用したレシピです

JA くれあい食材
おすすめ
レシピ

さばの南蛮漬け



●材料は1人分が基準になっております。
●盛付例はイメージです。
※材料の野菜がない場合は家庭にあるお好きな野菜をお使い下さい。

材料

- ・ノルウェー産さば しょう油……………大さじ1
- 文化干し切身……………2切 酢……………大さじ3
- ・玉ねぎ……………1/2個 A 砂糖……………大さじ2
- ・ピーマン……………2個 だし汁……………100cc
- ・人参……………1/3本 赤唐辛子……………1本
- ・貝割れ菜……………1/4p

作り方

- 1 商品は解凍して食べやすい大きさに切り、フライパンで片面約2分ずつ焼き、弱火にしてさらに片面を約2分ずつ焼く。
- 2 玉ねぎとピーマンと人参は縦2~3mm幅のせん切り、貝割れ菜は2等分、赤唐辛子は小口切りにする。
- 3 小鍋にAを入れて中火にかけ、沸騰したら火を止めてボウルに移す。
- 4 ③に①、玉ねぎ、ピーマン、人参を入れて10分以上漬け込む。
- 5 器に④を盛り、貝割れ菜をのせる。

今月の主な行事予定

10月11日	畜産部	第52回JAグループ福島肉牛枝肉共励会(東京会場)
10月16日	園芸部	会津野菜館起工式
10月18日	園芸部	福島県きのこ品評会
10月19日	園芸部	GAP店頭イベント
10月23日	燃料部	クミアイプロパン事業研究会・JAグループ-SS運営研究会
10月29日	畜産部	JAグループ和牛育成管理共進会
10月30日	米穀部	JA福島カントリーエレベーター連絡協議会幹事会

ラジオ福島

午前5時15分~25分
放・送・予・定

「農家の皆さんへ」

- 10月1日 米穀部 多収穫米について
- 10月7日 園芸部 花き事業について
- 10月8日 畜産部 営農相談室
- 10月14日 営農企画部 農業技術センター業務
- 10月21日 園芸部 秋冬青果物の取組み
- 10月28日 米穀部 ふくしま米 販売情勢

東北地方の長期予報

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わってでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、高い確率50%です。3~4週目は、高い確率50%です。

<気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

9月28日~10月27日	【気温】東北地方	10	20	70
	【降水量】東北地方	30	40	30
	【日照時間】東北地方	30	40	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

9月28日~10月4日	10	10	80
10月5日~10月11日	20	30	50
10月12日~10月25日	20	30	50

凡例： 低い(少ない) 平年並 高い(多い)
(仙台管区気象台 発表)

編集後記

実りの秋10月、本格的な稲刈りのシーズンに入りました。今年のお米の作柄概況は7月の低温・日照不足により生育遅れが心配されましたが、作況指数「102」のやや良となりました。たわわに実った田んぼでは農家のみなさんが懸命に稲刈りする姿が見られます。新米が待ち遠しいです。

稲刈りの後は、『田んぼの生き物調査隊』秋編が始まります。ちょっと寂しくなった田んぼに、いなご、バッタ等を追いかける子供たちの元気な声が響き渡ります。